



藤川 万規子氏(母親)

医療法人社団げんき会 あゆみクリニック院長

経歴：東邦大学医学部卒業。都内の民間病院にて内科外来及び勤務医を経て、2000年にあゆみクリニックを開業し現在に至る。

これまで15年間で1万人以上の子どもの診察してきた。

園医としても活躍し、子どもたちに「命の大切さ」を伝える授業や講演活動なども行っている。

日々仕事と子育てに追われる毎日の中、3人の息子たちを育て上げ、医学部へと進学させる。医師、そして母親の立場からの親身なアドバイスは反響を呼び、遠方からも訪れる人が後を絶たない。

著書に、『団子3兄弟を育てた女医の医学部合格奮闘記』、『手抜きでもぐんぐん伸びる男の子の育て方』三笠書房(2016/2/26)がある。



いろいろな人と交わり影響を受けることで子どもは育ちます。

在庫の問い合わせなどのお電話を頂くことがあります。
いまだに卒業生や寮生同士の繋がりも強いようです。
ご父兄が両国予備校の卒業生という生徒さんも、毎年のように入学されています。

田村 藤川さんは、『手抜きでもぐんぐん伸びる男の子の育て方』という著書を出されていますね。
藤川氏 はい。出版社から依頼があったので、多くの方からのご相談にお応えしてきた内容を、3人の子育ての経験談として本にしました。
子育てで最も大切なのは、子どもが持っている才能や個性を、良い方向に

伸ばしてあげることだと思います。

私は、この子にはどんな才能があるのだろうか、自然と親しむ中でどんなことを感じ取ってくれるだろうか、小さい頃からいろいろな体験をさせて、我が子の才能探しに力を入れました。
また、子育ては親だけがするものではないと思っています。子どもにとって親と接する時間だけが大切なわけではありません。

私は子どもたちを生まれてすぐに保育園に預けました。いろいろな人と接触させ、いろいろな人から影響を受けることが、子供の成長には大切だと思っていたからです。

そのおかげで子どもたちは、人見知りもしない、誰とでも友達になれる氣質に育ってくれました。

親が干渉すると子供は萎縮してしま

います。小児科医としても今までに1万人以上の子供達を診てきて、親の過干渉が子どもの自立を妨げ、なかなか親離れができない姿を数多く見てきました。大切なのは干渉ではなく、常に子どもの環境を見守り手助けをするこ

大切なことは、干渉し過ぎず、見放さず、見守ることです。

田村 受験生を抱える親御さんに、メッセージをお願いします。

藤川氏 今の医学部受験は、親子が心を共にして合格を目指すという難しいと思います。親御さんも子供と一緒に合格を目指してほしいと思います。

最も大切なことは、干渉し過ぎず、見放さず、本人が受験に取り組む姿勢を持てるように、親がしっかりと見守ってあげることだと思います。見守るとは、手伝いが必要な時にはしっかりと手伝うということです。

私は、子育てだけでなく、医学部受験生を抱えている親御さんからの相談を受けることも多くありますが、私自身も鳳凰が受験の時は、親戚の医学部受験の体験がとても参考になりました。やはり受験を乗り越えた人の話は

大いに参考になると思います。
それと、困った時には、信頼できる予備校の先生に相談し、考えや意見を聞くことが大切です。子どもを安心して任せることができる、信頼できる予備校を選ぶことが重要なのです。

田村 本日は貴重なお話を頂き、誠にありがとうございました。

両国予備校の伝統を受け継ぐ、全国で唯一の予備校

 **MeducaPass**

私立医学部受験予備校メデュカパス

お問い合わせ

TEL:03-5229-7088

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-23-8 第2三幸ビル

FAX : 03-5229-7089

<http://www.meduca-pass.org/>

医療法人社団げんき会 あゆみクリニック

内科(循環器・呼吸器・消化器・感染症)・糖尿病内科・脂質代謝内科・漢方内科・老年内科・女性内科・小児科・アレルギー科

健康相談・各種予防接種・訪問診療訪問看護応需

〒344-0023 埼玉県春日部市大枝400-4

TEL.048-731-3283

<http://www.ayumi-clinic.com/>